学校番号	３０４

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史Ｂ」　（実教出版）						
副教材等	「写真資料館　日本史のアーカイブ」（東京法令出版） 「新日本史研究ノート　標準編」（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・諸資料に親しみ、歴史的思考力を養う。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を理解し、現在の日本の姿をとらえる。

２　学習の到達目標

日本の歴史の展開を、総合的に考察させ認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、追究している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的視野に立って追究し考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を、世界史的な視野に立って、政治・経済・社会・文化などの諸要素と関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 〔主題学習〕 ディスカッション	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート	定期考査 〔主題学習〕 ディスカッション

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	幕藩体制の展開と近世の文化	・ヨーロッパ人の来航 ・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・鎖国 ・近世の生活と文化	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a．ヨーロッパ人の来航から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化に対して関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b．ヨーロッパ人の来航から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化から課題を見いだし、ヨーロッパ諸勢力との接触と鎖国による対外関係と関連付けて、多面的に考察している。 c. ヨーロッパ人の来航から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化に関する文献史料、絵画、地図の諸資料を活用し、歴史的事象を追究する方法を身につけ、考察した結果を適切に表現している。 d. ヨーロッパ人の来航から幕藩体制の確立に至る統一過程や支配構造、さらには近世初期の文化から課題を見いだし、ヨーロッパ諸勢力との接触と鎖国による対外関係と関連付けて、その知識を身につける。	ワークシート 定期考査
	幕藩体制の動揺と文化の成熟	・幕藩政治の転換 ・経済の発展 ・学芸の発展と元禄文化 ・幕藩体制の動揺と幕政の改革 ・欧米列強の接近と天保の改革	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a．文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に関する課題を見いだし、欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連づけて現代に通じる問題意識を高め、意識的に追究している。 b．文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に関する課題を見いだし、欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連づけて多面的に考察している。 c．文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質に関する文献、絵画、統計資料などを活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身につけ、考察した結果を適切に表現している。 d．文治政治への転換と幕政改革の断行、町人文化の形成の特質についての基本的な事柄を欧米列強のアジアへの進出とその影響、その後の対外関係や支配構造の変化と関連づけて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

	近代への転換	・開国 ・明治維新 ・四民平等と富国強兵 ・初期の外交と国内政治	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ 	a． 幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立に至る過程について現代に通じる問題意識を高め、意識的に追究している。 b．幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立に至る過程について課題意識を高め多面的に追究している。 c． 幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立に至る過程について、資料を活用し、課題を見いだし、世界史的背景と連付けて多面的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 d．幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立に至る過程について、基本的な事柄を世界の動向と関連づけて理解しその知識を身につけている。	
2学期	近代国家の形成	・民権運動の展開と立憲政治への道 ・初期議会と日清戦争 ・政党の進出と日露戦争 ・産業革命と社会の変化	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a. 世界史的視野を意識しながら、立憲制の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、関心と現代に通じる問題意識を高め、意識的に追究している。 b. 世界史的視野を意識しながら、立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、課題を見いだし、多面的に考察している。 c. 立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程に関する文献・映像・統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに追究考察した結果を適切に表現している。 d. 立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程に関する基本的な事柄を、世界の動向と関連づけて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
	両大戦間の日本と市民文化	・第一次世界大戦 ・大戦後の内外環境 ・政党政治の展開 ・市民文化の展開	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a. 第一次世界大戦が国内の経済社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b. ．第一次世界大戦が国内の経済社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成から課題を見いだし、多面的に考察している。 c. ．第一次世界大戦が国内の経済社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に関する文献、絵画、映像・統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d. 第一次世界大戦が国内の経済社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

	十五年戦争と日本	・満州事変 ・日中戦争 ・アジア・太平洋戦争	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a. 十五年戦争について、国際社会の動向、国内の政治・経済の動向などと関連づけながら、関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b. 十五年戦争について、国際社会の動向、国内の政治・経済の動向などと関連づけながら課題を見いだし、アジア諸国との関係や動向に着目して手面的に考察している。 c. 十五年戦争について、国際社会の動向、国内の政治・経済の動向などと関連づけながら文献・映像・統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d. 十五年戦争についての基本的な事柄を、国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
3学期	現代の日本と新しい文化	・占領と民主改革 ・サンフランシスコ講和会議と安保体制 ・高度成長下の日本 ・経済大国日本と国民生活 ・世界史の転換と日本	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	a. 戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b. 戦後日本の歩みと世界情勢の推移について、相互の動きを関連づけて多面的に考察している。 c. 戦後日本の歩みと世界情勢の推移に関する文献・映像・統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d. 戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての基本的な事柄を、世界の動向と関連づけて理解し、その知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。